

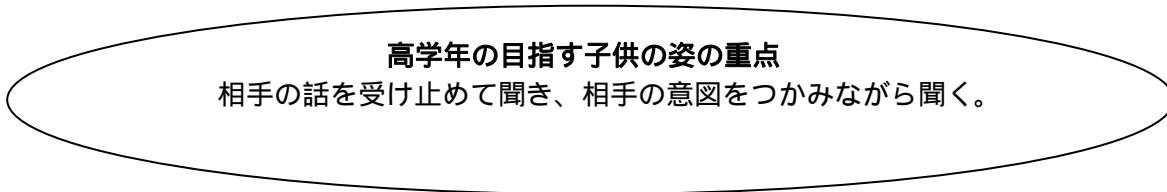
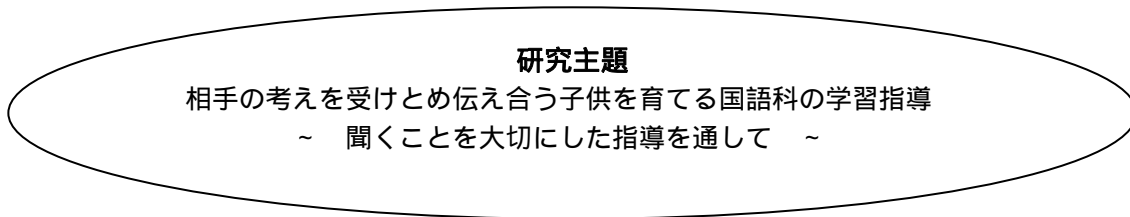
5 学年 国語科学習指導案

日 時 平成16年11月2日(火) 5校時
 児 童 男6名 女9名 計15名
 指導者 木 村 文 彦

- 1 単元名 地球環境について考えよう
 教材名 一秒が一年をこわす
 ホタルのすむ水辺
 「子ども環境会議」を開こう
 より確かな情報を

2 単元について

(1) 子供の実態と研究主題との関連



本 単 元 を 通 して 身 に つ け さ せ た い 力		
話 す	聞 く	話 し 合 う
資料や例示を活用して話す。 (活用)	話し手の意図、伝えたい事、共に考えたい事を考えながら聞く。(活用)	互いに知識や考え、意見を出し合い、話し合う。



子 供 の 実 態		
話すこと	聞くこと	話し合い
伝えたい相手や伝えたい事を明らかにして話す。 事実と感想、意見を組み立てて話す。 なぜ、なにを、どのように知らせたいかということをはっきりさせて話す。 資料や例示を活用して話す。	自分の経験や考えと比べながら聞く。 要点をメモしながら聞く。 話し手の意図、伝えたい事、共に考えたい事を考えながら聞く。	興味を持って進んで話し合う。 グループ内で役割を分担して話し合う。 話し合いの目的や展開、収束、選択を考え立場や意図をはっきりさせて話し合う。 互いに知識や考え、意見を出し合い、話し合う。 予想される問題に対し、計画的に話し合おうとする。

(2) 単元について

<p>児童について</p> <p>子供たちは、4年生で「十さいを祝おう」5年生では「わたしたちは、こう考える」の学習を通して、会議における発言のしかたや司会者の役割、話し合いの進め方や発表のしかたを身に付けてきた。学校生活の中で見られる話し合いの場では、子供たちなりに、会を進めたり、話し合いをまとめたりすることはできている。</p> <p>しかし、それらの話し合いや会の進行は、表面上はスムーズに流れてはいるが、意見の交流や話し合いの深まりが見られることは少ない。</p> <p>それは、互いに知識や考え、意見を出し合い話し合うことや、提案理由を説明したり、出された意見を集約したりするなどの力がまだ育っていないからだと考えられる。また、話し手の意図を考えながら聞くことや、伝えたい事、共に考えたい事を意識しながら聞くことのできる子も少ない。話し合いを深める手段としては、資料や例示を有効に活用し話すことも手段の一つであるが、十分に身に付いてはいない。</p>	<p>聞くことについて</p> <p>本年度実施した国語の勉強に関するアンケートの「友達の考えを聞いて、同じ所や違いを見つけたり、考えを深めたりしていますか。」「みんなで話し合っていくことは好きですか。」という問いに「はい」と答えた子供はそれぞれ11人、10人と多数を占めている。しかし、学級会などでの話し合いの様子から、与えられた課題について話し合うことはできるが、全員参加の体制で話し合いが進められているか、一人一人が話し合いに真剣に向き合っているか、という点では不十分である。また、話し手の意図を意識して聞くことや伝えたい事、共に考えたい事を考えながら聞くことについても十分とは言えない。</p> <p>「聞き上手な子」に関しては、「心」・「技」・「体」ともに身につきつつあるが、自分の考えや思いをのびのびと発表できない子供もまだ見られる。このような状況から「自分の思いや考えが話し合いの中で生かされた。」という成就感をも</p>
<p>教材について</p> <p>本単元は、複合単元で「一秒が一年をこわす」・「ホテルのすむ水辺」・「『子ども環境会議』を開こう」・「より確かな情報を」の四つの教材で構成されている。本単元の学習では二つの説明文を読み、その中から筆者の考えや訴えたいことを知り、自分なりに身近な環境について考え、さらに興味を持った問題について調べ「子ども環境会議」を開き自分たちでできることを決めるという学習活動を進めていくことになる。</p> <p>「『子ども環境会議』を開こう」は、学習指導要領の話すこと・聞くことの内容ウ「自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。」をねらいとしている。学習を進める中で、互いに知識や考え、意見を出し合い、また、話し合いの中で自分の立場を明確にして意見を発表できることが目標となる。このことから、子供一人一人が話し手の意図や伝えたい事、共に考えたい事を考えながら聞くことを学習する上で適した教材であると考えられる。</p>	<p>てるまでには至っていないのが実態である。</p> <p>指導にあたって 本単元の学習では、教材文を読み通し「地球環境の問題という視点から、わたしたちの生活に目を向け人類の課題について考える」という単元のねらいを知ることからはじめ、「一秒が一年をこわす」・「ホテルのすむ水辺」では、筆者の考え方や意図を探り、自分の生活や身の回りのこと目を向けさせることにより問題点を考えさせていきたい。</p> <p>「『子ども環境会議』を開こう」では、自分の身近な環境問題について選んだテーマによってグループを作り活動することになる。調査活動では役割を分担し、協力しあう中で活動を進めさせていきたい。調査内容をまとめる段階では、解決するために、いつ、どこで、どのように取り組むのかという、手立てまで考えさせて発表させたい。また、司会や記録などの係りを決めて「子ども環境会議」を開き、今、自分たちの力でできる「環境を守るための方策」を話し合い、実現に向けて方向性を見いだすことができるようにさせていきたい。</p>

**話し手の考えや、伝えたい事、共に考えたい事を考えながら聞く
(活用)**

3 単元の目標と評価規準

主目標 副目標

	目 標	評 価 規 準 (B)
関・意・態	地球的規模や身近な環境問題に関心をもち、自分たちの課題について意欲的に考えたり話し合ったりしようとする。	「地球環境について考える」という話題に興味を持って文章を読もうとし、自分の課題についても調べ、自分なりの考えを発言しようとしている。
聞話・くすことと	互いに知識や考え、意見を出し合い、話し合うことができる。(ウ)	話し合いの中で自分の立場を明確にして、意見を出している。
書	自分の課題を解決するために、必要な情報を集めたり、整理したりしてカードに書くことができる。(イ)	集めた情報を整理して、カードに書いている。
読	文章に書かれている事例と筆者の考えの関係を押さえ、自分の考えと課題をまとめることができる。(エ)	筆者の考えや意図をとらえて、ワークシートに書いている。
事言・項語	文や文章にはいろいろな構成があることについて理解する。(オ)ア	調査内容を分かりやすく文章にまとめている。

4 学習指導計画 (15 時間 : 話・聞 4、書 6、読 5)

過程	時	学 習 活 動	指導上の留意点	具体的評価規準(B)と評価方法
つ	1	教材文を読み通し「地球環境の問題という視点から、わたしたちの生活に目を向け人類の課題について考える」という単元のねらいを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">地球環境について考えよう。</div>	・活動の節目ごとに目的意識・相手意識・場面意識を持たせるように努める。	地球規模や身近な環境問題に関心をもち、自分たちの課題について意欲的に考えたり話し合ったりしようとしている。(読) [発言の様子を観察]
追	2 ~ 4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">「一秒が一年をこわす」 地球環境の問題について 考えよう。</div> 「一秒が一年をこわす」を読み、筆者の考え方を読みとり、自分が考えたことを発表し合う。	・地球環境の危機的な状況を知るといふ目的意識をもたせて読みを進める。	まとめりごとの内容を押さえ、的確に要旨をとらえワークシートに書いている。(読) [ワークシート・発言の分析]
求	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">「ホテルのすむ水辺」 わたしたちの身の回りの出来事について考えよう。</div> 「ホテルのすむ水辺」を読み筆者の意図を探り、自分の生活や身の回りのことについて考えたことを話し合う。	・筆者の意図を踏まえ、自分の生活や身の回りの出来事について考えさせる。	ホテルがすめない理由、減った理由などの事例と筆者の考えの関係を押さえ、自分の考えと課題をまとめワークシートに書いている。(読) [ワークシート・発言の分析]

す	6	<p>身近な出来事の中から、自分のテーマを見つけよう。</p> <p>「一秒が一年をこわす」「ホテルのすむ水辺」の学習を受け、自分の身の回りにある環境問題のうち、興味のあるものを選び、調べ学習を始める準備をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境問題の中から、自分の力が役に立ちそうな問題を選ばせる。 ・できるだけ体験的調べ学習を勧めたい。地域の様子を見たり地域の人たちからの声を聞いたりする中で「こんなことができるかも」という考えを持たせる。 	<p>自分のテーマに必要な情報を得るために、テーマにあった方法を選び調べている。(書)</p> <p>[活動の様子の観察]</p>
	7 ~ 9	<p>調べよう、環境問題。</p> <p>身の回りの環境について、選んだテーマによってグループを作り、調査活動を分担して進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じテーマや同じ傾向のことを調べようとしているときは、グループを作って調べ学習を行うようにさせる。 	<p>自分のテーマに必要な情報を得るために、テーマにあった方法を選び調べている。(書)</p> <p>[活動の様子の観察]</p>
ま	10 ~ 11	<p>まとめよう、環境問題。</p> <p>「何を、どのような方法で調べた結果、何が分かったか」が伝わるように工夫して資料をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフにまとめる、文字の大きさや配置を考えるなど発表のための資料作りに役立つ手引きを事前に渡しておく。 ・発表原稿をまとめるときは、相手意識をもって取り組ませる。 	<p>表やグラフなどを使って聞き手に分かりやすい、効果的な資料を作っている。(書)</p> <p>[表やグラフなどの資料の分析、活動の様子の観察]</p>
	12 本時 ~ 13	<p>考えよう、環境問題。</p> <p>司会など、係りを決めて「子ども環境会議」を開き、調査活動の結果を交流し合う中で、今自分たちの力でできる「環境を守るための方策」を話し合い決定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにテーマに合った発表をさせる。 ・発表内容について質疑応答を行い、自分たちにできる適切な提案かどうかを話し合わせる。 	<p>環境問題についての質疑応答の中で、自分の考えを明らかにし、話し合いに参加している。(話・聞)</p> <p>[ワークシートの分析、発表や質問の観察]</p>
め	14	<p>わたしたちの取り組みを振り返ろう。</p> <p>計画に従って、行動したことを点検し、今後の活動について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動への振り返りは、日数をおいてから行うこととする。 	<p>環境問題について自分の立場を明確にして、意見を出し合っている。(話・聞)</p> <p>[発表や話し合いの様子の観察・ワークシートの分析]</p>
	15	<p>情報をより正確に、より分かりやすく伝える方法を考えよう。</p> <p>教材「より確かな情報を」を読んで「情報収集・情報加工・情報発信」の効果的な方法について考え、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読みとったことをもとに、自分の体験とつなげて考えたこと、今後気をつけたいことなどを考えて書かせる。 	<p>「より確かな情報」のとらえ方や伝え方を読みとっている。(話・聞)</p> <p>[ワークシート・振り返りカードの分析]</p>
る				

5 本時の学習

(1) ねらい 環境問題について、自分の立場や考えをはっきりさせながら話し合うことができる。

(2) 授業仮説 聞き方の観点に沿って発表を聞き、話し合いに参加することにより、発表者の考えや伝えたいことを把握し、自分の考えを深めることができるであろう。(仮説2)

(3) 展開

段階	時間	学 習 活 動	指導上の留意点	具体の評価規準と評価方法
つかむ	5分	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>考えよう、環境問題。</p> </div> <p>(1) 学習課題を確認する。 (2) 議題や役割分担を確認する。 (3) 話し合いの進め方・聞き方の観点を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に司会など、係りを決めておく。 ・議題は「住みよい安庭にするために、わたしたちにできること」であることを確認させる。 ・聞き方の観点 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>どのように調べたか どのような結果になったか どのような取り組みをするのか</p> </div>	
追求める	35分	<p>2 グループごとに発表する。</p> <p>(1) 資料を見せながら調べた結果を発表する。</p> <p>(2) 具体的な活動の提案。</p> <p>(3) 質疑応答。</p> <p>(1)から(3)までを繰り返す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果と、今、自分たちの力のできる「環境を守るための方策」を、グループごとにメモと資料(模造紙等にまとめたものを黒板に掲示)を活用し発表させる。 ・提案理由の中には話し合う必要性や問題点など、具体的なものとなるように発表させる。 ・環境問題についての友達の発表を聞き、気がついたことや賛成意見などを活発に出させ、考えの交流を図ることによって、話し合いが深まるようにさせる。 ・発表内容についての質疑応答は、自分たちにできる適切な提案かどうかの視点で話し合わせる。 	<p>A 話し合いの進め方を理解し、積極的に意見交流をする中で、環境問題について自分の考えを深めている。</p> <p>B 環境問題についての質疑応答の中で、自分の考えを明らかにし、話し合いに参加している。</p> <p>C 友達と同じ考えでも、自分から意見を発表するように促す。</p> <p>[話し合いの様子の観察・振り返りカードの分析]</p>
まとめる	5分	<p>3 各グループの発表についての感想と、話し合いへの参加についての自己評価をする。</p> <p>4 次時の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの発表の良いところや自分の考えを深めることができたことなどを具体的に書かせる。 ・自分が話し合いにどのように参加していたかを聞き方の観点に沿って評価させる。 ・次時は、アドバイスされたことをもとにして、行動に移すための計画を立てることを確認し、意欲付けをする。 	

6 板書計画

「子ども環境会議」を開こう。

課題

考えよう、環境問題。

『話し合いの進め方』

各グループの提案

「住みよい安庭にするために、わたしたちにできること。」

質問

意見

話し合いを受けて
具体的な活動計画を立てる。
(次の時間)

聞くときのポイント

- ・どのように調べたか。
- ・どのような結果になったか。
- ・どのような取り組みをするのか。

感想発表

他のグループの発表について